



平成18年度通常総会報告

6月9日諫早市のホテルセンリュウにて、平成18年度通常総会を開催し35名の会員出席の下無事終了しました。その後32名出席で懇親会を開催し盛会に終わることができました。今回は、交通の便等会員の希望を取り入れ会場を諫早市といたしました。

ご協力ありがとうございました。
総会の状況をご報告いたします。

1: 総会議案

1) 第1号議案・平成17年度事業報告について ・報告書のとおり承認

平成17年度の主な実績は、

- ① 6月 17年度長崎県技術士会通常総会
- ② 6月 西日本技術士業績・研究発表会を佐賀県と協賛
- ③ 10月 技術士全国大会(福岡市)への参加
- ④ 6、1月 長崎県技術士会主催研修会の開催
- ⑤ 11月 佐賀NPO法人技術交流フォーラムへの参加
- ⑥ 機関紙の発行
- ⑦ 技術士第1、2次試験の受験申込書配布・説明会
- ⑧ HPの開設準備等があります。
研修会等でのご協力に感謝いたします。

第2号議案・平成17年度収支決算、会計 監査報告・決算書のとおり承認

平成17年度年会費は、正会員3,000円/年、準会員1,000円/年で徴収し収支はバランスしております。

第3号議案・平成18年度事業計画について 計画書のとおり承認

平成18年度の主な事業は、

- 6月 18年度長崎県技術士会通常総会
- ② 長崎県技術士会主催研修会の開催
(テクニカルツアー、地区毎のミニ研修会など)
- ③ 11月 佐賀NPO法人技術交流フォーラムの参加
- ④ 機関紙の発行
- ⑤ HPの充実
- ⑥ 技術士第1、2次試験の受験申込書配布・説明会
- ⑦ 会員(日本技術士会、長崎県技術士会)の増強等を計画しています。会員の皆様の積

「技術士の技術力向上について思う」

川村昭宣(建設部門)

6月に開催された全米オープンゴルフで、タイガーウッズが予選落ちをした。メジャー大会での予選落ちは10年ぶりとの事。お父様のご不幸があり、2ヶ月間ゴルフから離れていたため、練習不足であったと言う。ゴルフの世界の名手でも、日頃の練習をしていない状態で試合に臨むと、十分な成績を出せない事を示している。

我々技術士の世界でも、CPDの必要性が強く叫ばれているが、絶えず努力をしていく事が如何に重要であるか、ということを教えてくれている様に思う。

また先日の長崎新聞に、トヨタ自動車の張富士夫副会長の講演の記事が掲載されていた。

「技術者は5W1Hが大切である。ただし5Wといっても、例の、「何時、どこで」等ではなく、技術者は5回ホワイ(何故)と繰り返し、その後ハウ(どのようにして)を考える。そうすることでトラブルなどの真の原因が見えてくる」と。

我々は日常生活の中で、物事の本質を見ず、ついつい安易な道を選び、表面的な解決を選択してしまいがちである。

真実を追究し、真の原因を掴んだ後、対策を考えると、言う姿勢は技術者のあるべき姿を的確に指摘していると思う。

自分自身の技術力向上のため、これからも常に「ホワイ？」と自問自答し、研鑽を続けていきたい。

技術士の資格は評価の高い資格であるが、その後の研鑽をしなければ、「高校を卒業した」とか、「大学を卒業した」といった事と同じになってしまう。

重要なのは、単に技術士の資格を持っているということでは無く、「技術士の資格を使ってどのような仕事をしたのか」、「技術力を高めるためにどのような努力を続けているのか」、更には「技術士として恥じない事をしているか」等だと思う。

今回長崎県技術士会のホームページが開設され、いろいろな情報を入手し易くなった。自己研鑽のために、大いに活用していきたい。

技術士一人ひとりが個人の技術力を高めていくこと、そして考え続け・行動し続けていく事が、結果的に県技術士会の発展にも役立つと思う。

九州支部・技術士センター合同役員会報告

6月24日福岡市で開催され、平原宏志、山口和登、大橋義美の各役員が出席しました。

議題は主に、「平成18年度事業計画」です。

極的な参加を御願います。

第4号議案・平成18年度予算(案)について 予算書(案)のとおり承認

平成18年度年会費も、正会員3,000円/年、準会員1,000円/年で徴収させていただきます。未納がないようにご協力御願いたします。

第5号議案・監事交代について

松竹英雄氏の勤務先が福岡市になったため、交代させてほしい旨申し出があり総会に諮り、新監事に川村昭宣氏(建設部門)が推薦され選出されました。

松竹氏には永年監事を努めていただき感謝いたします。又、川村氏には監事役宜しく御願いたします。

尚、その他の役員は改選期ではないため、引き続き活動して行きますので会員皆様のご協力を宜しく御願いたします。

その他・会員よりの要望他

①名簿について

名簿は現在のところ特別発行せず、「長崎県年鑑」に肖像写真付きで掲載していますが、会員より掲載を中止してほしいとの申し出がありました。

本年度の「長崎県年鑑2006年版」は、印刷済みのため掲載を了解していただきました。

「長崎県年鑑」については、総会の意見として来年度より掲載は中止することに決定しました。但し、官庁などに対する技術士会のPRのため、名簿が必要と考えますので検討メンバーを編成し方策について検討して行くことになりました。

2: 報告事項

①日本技術士会九州支部と九州技術士センターの総会報告

上記総会は、5月27日福岡商工会議所で開催されましたので、総会の概要を報告します。

ア. 各議案は審議の上承認されました。

イ. 日本技術士会九州支部と九州技術士センターの一本化について

現在、支部とセンター会員の二本立てとなっていますが、将来は一本化される方向にあります。その過程としてセンター会員については当面、支部の協賛会員などとして入会してもらい、将来は支部に一本化したいとの報告がありました。

②(社)日本技術士会への入会の御願

本部では、会員の増強を推進しています。「技術士」としてプロフェッショナルであることを自覚し、社会に認めていただくためには、会員となっていただき、倫理を含む継続研修により相互に啓発を図るとともに、「技術士」の知名度や社会的地位の向上に向けて活動していくことが大切であると考えます。

特に議論となったものは、

①財政が厳しい状態である。研修会収入を計画とおりに実行できるように、支部主催の研修会へも多くの会員の参加を御願いたします。

本年度は今後3回(7/22, 10/28, 1/27)計画されています。会員外の方でも参加できますので九州支部のHPを見て下さい。

②九州技術士センターの支部一本化への取り組みを行う。総会において、「現在のセンター会員各位は日本技術士会に入会して頂き、日本技術士会九州支部として一本化し、九州技術士センターは19年度から廃止する。現在のセンター会員で、日本技術士会入会の検討を要する方々のために暫定的に19年度に限り九州支部協賛会員制度を設け、支部に直接協賛会費(8,000円/年)を納付する事とする。詳細については18年度中に決定する」ことになりましたので、センター会員の方は日本技術士会へのご入会を検討頂きたく御願いたします。詳細は支部HP見て下さい。

③日本技術士会会員の拡大を図る。等でした。

尚、長崎地区の事業計画として、①情報提供(機関紙、HP)の充実、②研修会の活発化、③会員の増強、を重点に取り組む旨報告しました。

ミニ研修会の開催計画について

本年度における活動計画の重点項目の一つとして、犬束会長の挨拶にもありますように「ミニ研修会」があります。

これの開催に当っては、地区毎の実行委員を選出して、場所・日時・講師・案内などの手配と研修会の開催を御願いすることとなります。

実行委員には、特に若手の会員を中心になっていただき、有意義で継続性のある研修会になることを期待しています。

委員については、自薦により申し出ていただければ幸いです。又、事務局より御願いすることを考えていますので、お忙しいこととは思いますが会の活性化のため引き受けて頂きます様宜しく御願いたします。

又、会員の皆様の積極的なご協力を御願いたします。

今年度の研修会の開催については、下記のスケジュールで計画したいと考えています。

- | | |
|---------------------|-----------|
| ① 佐世保地区ミニ研修会 | 8月 |
| ② テクニカルツアー | 10月 |
| ③ 技術懇話会(佐賀県武雄市)講師派遣 | 11月25日(土) |
| ④ ミニ研修会長崎地区 | 19年1月 |
| ⑤ 県技術士会研修会 | 3月 |

事務局だより

未加入の方は、ぜひとも入会を検討していただきますように宜しく御願いたします。都丸会長の「(社) 日本技術士会への入会のお願い」及び「入会申込書」は事務局にありますのでご連絡ください。

犬東会長の挨拶（総会挨拶）

18年度計画の実施について、犬東会長から下記のような提案・御願事項等について話がありました。会員一同協力して活発な会の活動と技術者としての研鑽を実施して行きたいものです。

テクニカルツアーについて

研修会については、講義による座学のみでなく現場見学を兼ねたテクニカルツアーを実施したい。

研修の場は、例えば、①溶融施設の現状と問題点、宇宙開発、ロボットの現状、クリーンエネルギー、次世代燃料メタンハイドレイドの現状、その他が考えられます。

皆様で、見学に適切な施設等心当たりがありましたら、事務局までメールなどで積極的に提案下さい。お待ちしております。

本年度には、是非とも有意義なツアーを実施したいと思います。

地域別のミニ研修会の実施

現在は、長崎県内一体として行なっていますが、県南、県北地区でミニ研修会を開催し参加者の増加を図りたい。開催地としては、佐世保、諫早、大村、島原、長崎地区が考えられます。

実施に当っては、先ず各地区でお世話していただける方を編成し具体的に取り組む必要があります。会員の方の積極的な意見を求めます。

ミニ研修会は、会員等による話題提供などを行い、終了後懇親会を開催することも有意義かと思えます。これが軌道にのり場所を決め定期的に行なうことが出来れば非常に結構なことと考えます。

尚、CPD 認定の研修会として実施するためには、事前に研修内容を支部のCPD 委員長へ提出し承認を受ける必要がありますので、講師依頼については早めに御願する必要があります。

3) HP の活用

HP は NERC の中に開設しています。これにより経費の節減が図られています。HP の開設に当っては IT 委員会の皆様で作成していただき、外部の業者へは依頼せず手作りの HP です。関係者に感謝いたします。

この HP が有効に活用されるためには、各自が HP を開き活用することです。

尚、HP への書き込み、及び、修正は NERC に御願する必要がありますので、要望がある方は事務局までご連絡下さい。

今後、内容の充実、名簿等の掲載内容の検討が必要と考

18年度技術士第1次試験申込書配布・説明会を5月20日に開催しました。

第1次試験の申込書配布は、5月12日から行ない配布は最終的に80部でした。受験される方の合格を祈念します。

2) 本号は、18年度通常総会報告、及び、会員の投稿(川村昭宣氏)を編集しました。

3) 18年度通常総会は6月9日に開催し、会員皆様のご協力で無事終了しました。

総会後に懇親会を開催し、お互いの近況や情報交換を行い、楽しく有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

4) 年会費納入の御願

総会にご出席の方は当日に年会費を徴収させていただきましたが、その他の会員へは別途請求書を送付いたしますので、納入方よろしく御願いたします。

会員として「会則」にもありますように、2年以上の未納が無い様に御願いたします。

各種研修会のご案内

現在、長崎大学等で開催される「長崎地盤研究会」や「社会基盤維持管理研究会」などの開催案内を会員各位へメールで送信しています。

皆様の中で、研究会や講座案内などがありましたら事務局へご連絡いただければ会員の方へ連絡いたします。情報をお待ちしています。

会員名簿

現時点(18年7月1日付)での、会員名簿を別紙のとおり添付します。

内容の変更がありましたらご連絡下さい。

8) 会の活動等に関する提案や自由なご意見等、本機関紙への投稿をお待ちしております。

会員皆様の要望、意見、各種情報等も下記までお寄せください。

長崎県技術士会に関する連絡は、下記へ御願いたします。

西日本菱重興産株式会社土木部 大橋 義美

〒852-8136

長崎市神の島町3丁目9番9号

TEL 095-865-5200

FAX 095-865-5880

E-mail : yoshimi.oohashi@west-ryoko.co.jp

えています。

4) 記念誌の企画

技術士会も組織して相当の年月が経っており、長崎県技術士会として、会員の記録、専門分野における伝記を記した文献の収録等、後世に残るものを記念誌として作成したいと考えています。

このためには、企画委員会を結成し準備をお願いする必要があります。

以上のように、種々の企画・計画を考えていますので、これの実現のためには会員各位の参加・協力が必要です。人に任せず自ら積極的な行動をして活動する技術士会として発展させて行きましょう。